

2016年9月期 第2四半期決算説明

株式会社ユーグレナ
2016年5月

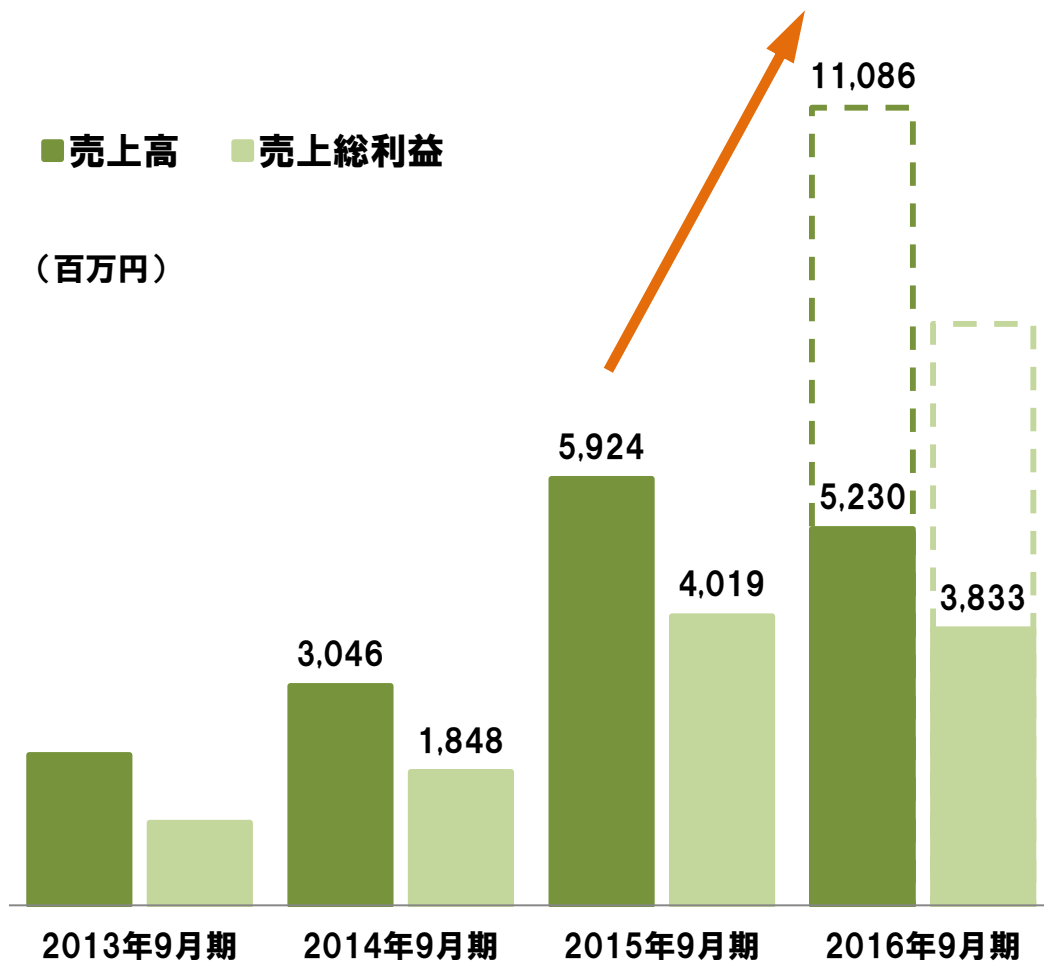
【免責事項】

本資料に記載されている予測、見通し、戦略およびその他歴史的事実ではないものは、当グループが資料作成時点で入手可能な情報を基としており、その情報の正確性を保証するものではありません
これらは経済環境、経営環境の変動などにより、予想と大きく異なる可能性があります



2016年9月期 第2四半期決算概要

業績推移—売上高、売上総利益

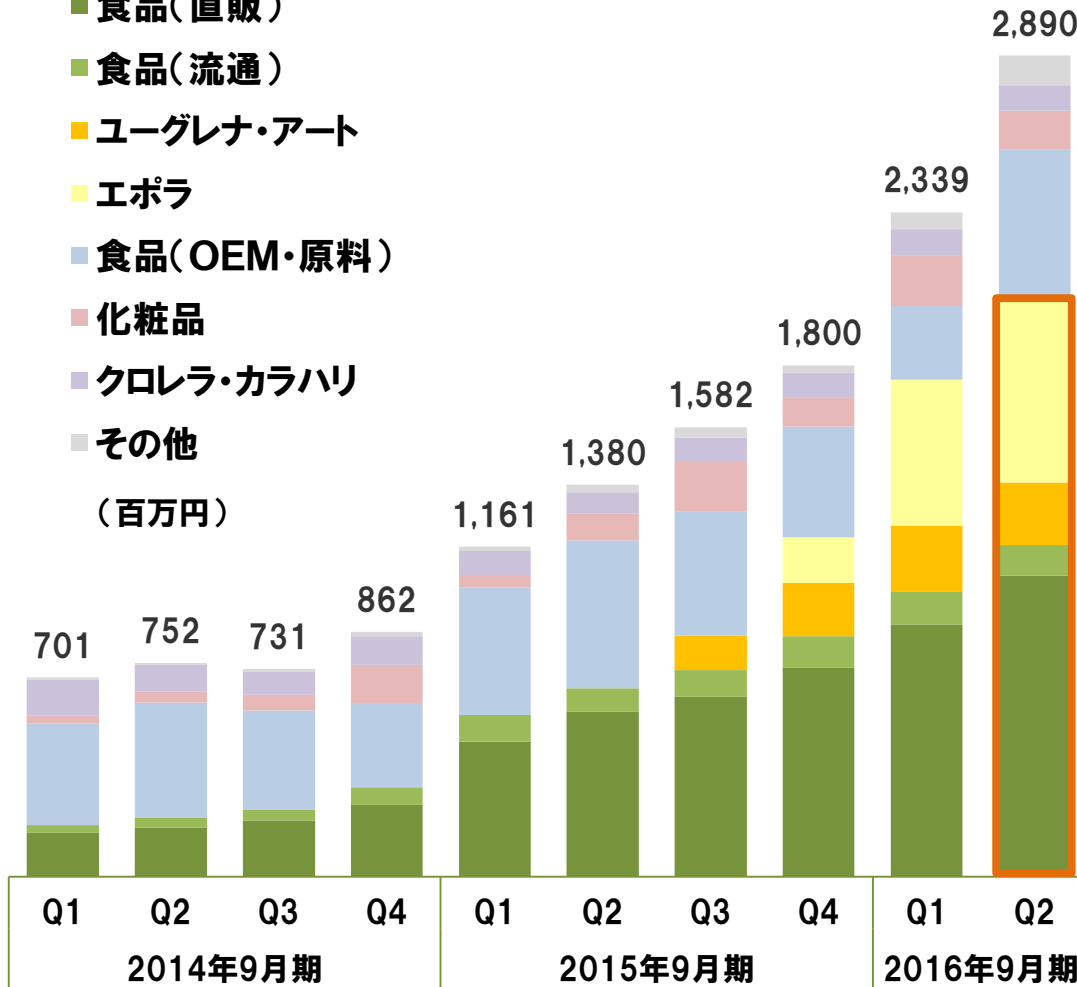


売上高は
前年比2倍に
向け順調に進捗



業績推移—売上構造の推移

- 食品(直販)
 - 食品(流通)
 - ユーグレナ・アート
 - エポラ
 - 食品(OEM・原料)
 - 化粧品
 - クロレラ・カラハリ
 - その他
- (百万円)

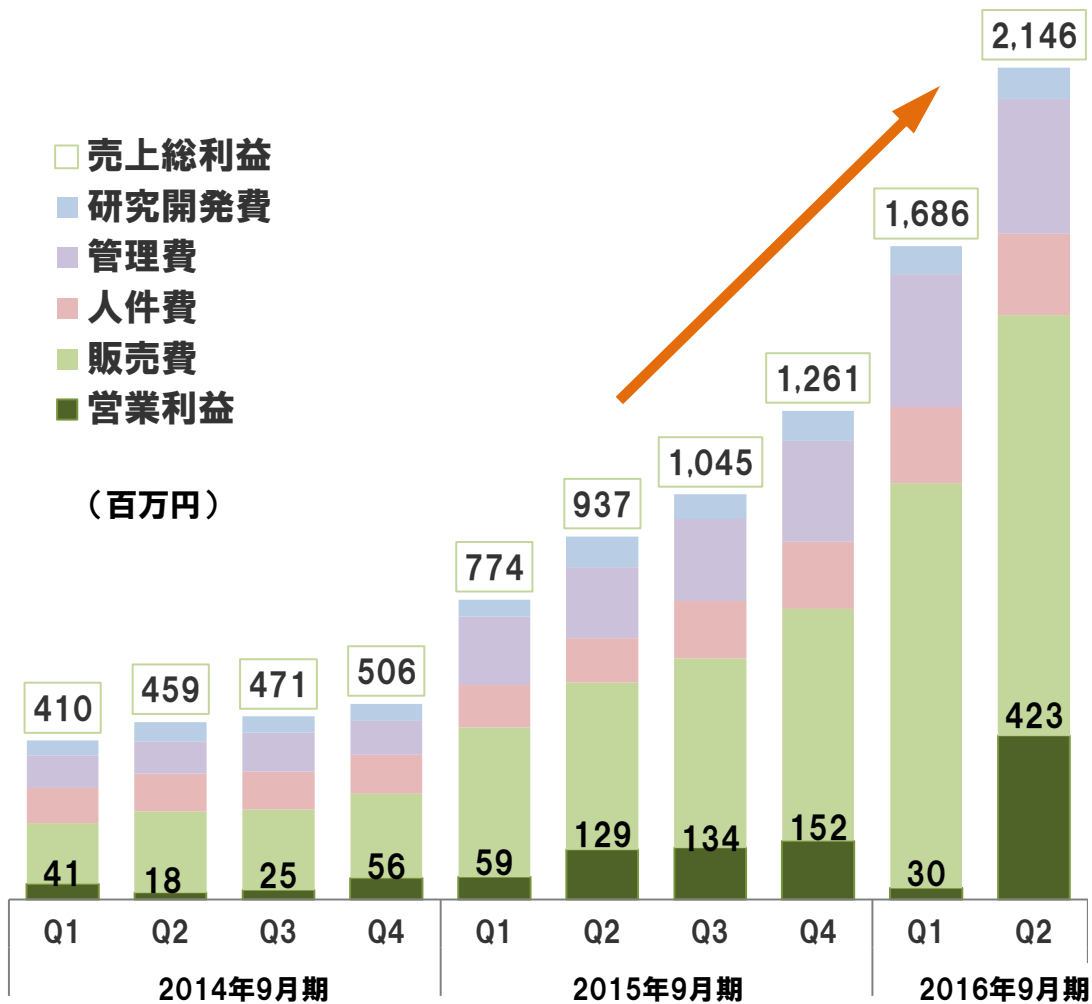


自社グループ商品の
売上は順調に成長



注: ユーグレナ・アート社およびエポラ社の業績は、それぞれ株式交換が完了した2015年5月1日および2015年9月1日より、当社グループの連結決算に反映されております

業績推移—売上総利益、販管費、営業利益

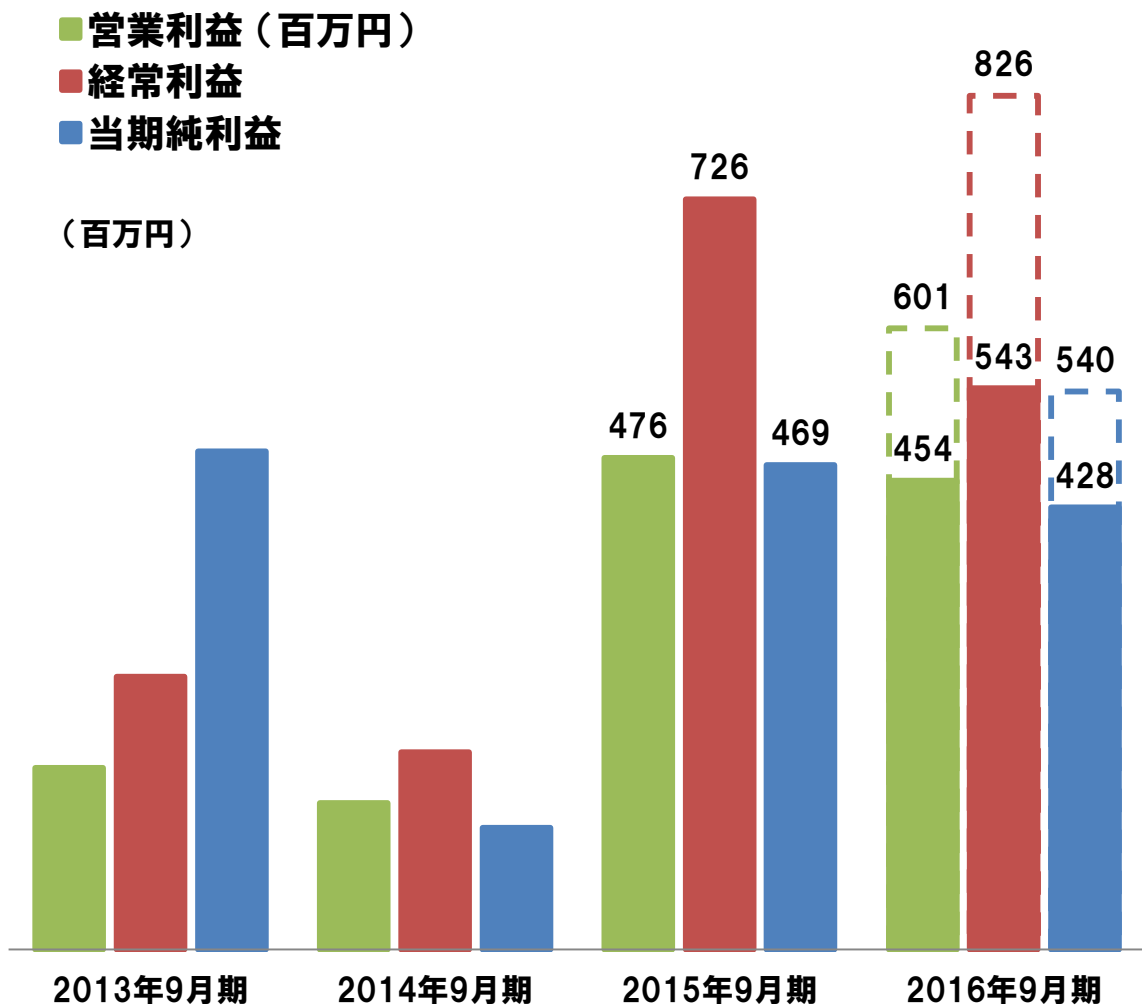


グループ統合シナジーの
実現と直販関連コスト
の最適化により
営業利益が増加

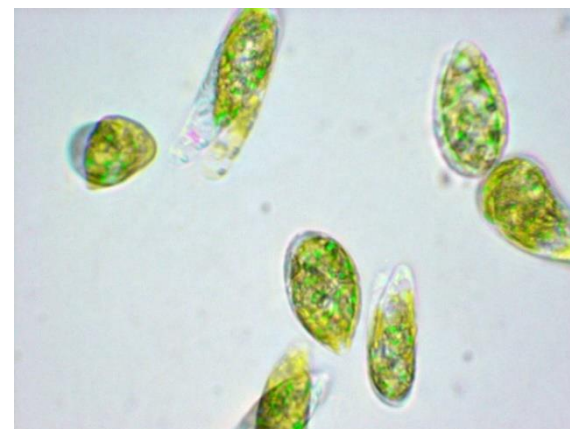


注: ユーグレナ・アート社およびエボラ社の業績は、それぞれ株式交換が完了した2015年5月1日および2015年9月1日より、当社グループの連結決算に反映されております

業績推移—営業利益、経常利益、当期純利益



営業利益・経常利益は
計画通りに進捗



2016年9月期(第12期)の連結業績予想

今期業績予想は据え置き

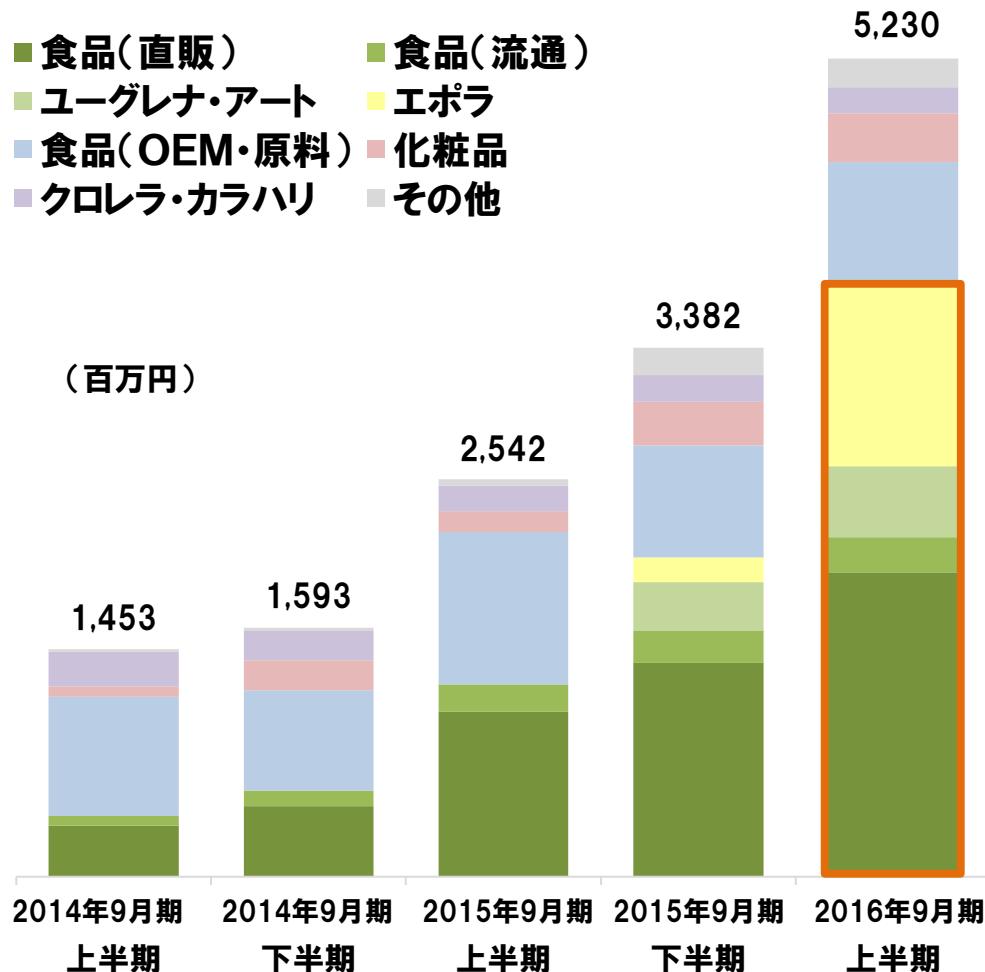
	2015年9月期 通期実績	2016年9月期 上半期実績	2016年9月期 通期業績予想
売上高	5,924百万円	5,230百万円	11,086百万円
営業利益	476百万円	454百万円	601百万円
経常利益	726百万円	543百万円	826百万円
当期純利益	469百万円	428百万円	540百万円

下半期はTVCM開始
や新商品投入に伴う
積極投資を優先

下半期も助成金収入
等による上積みを見込む

足元の収益成長 ～ヘルスケア事業

ヘルスケア事業－売上高の内訳



自社グループ商品の
構成比率は73%に拡大

粗利率も向上

粗利率

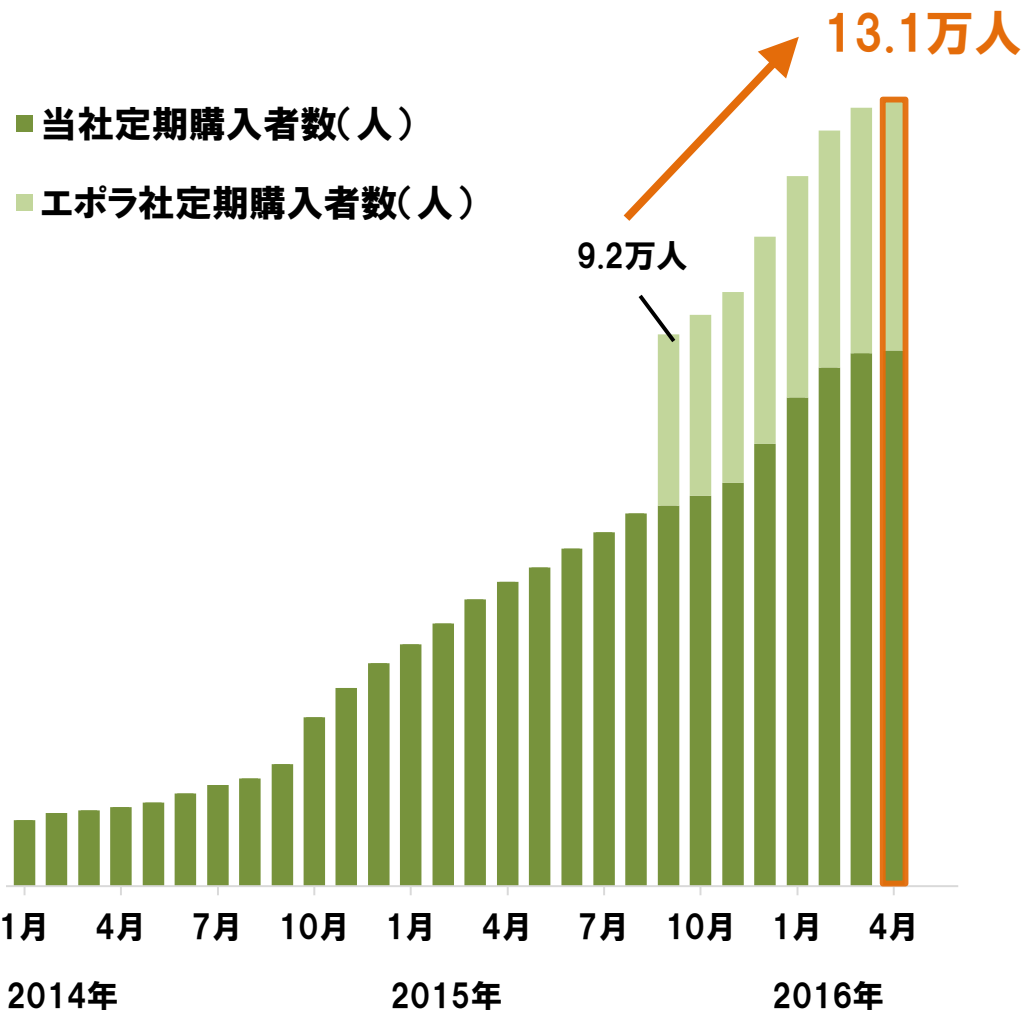
67%

68%

73%



食品(直販)一直販顧客数推移(2016年4月)



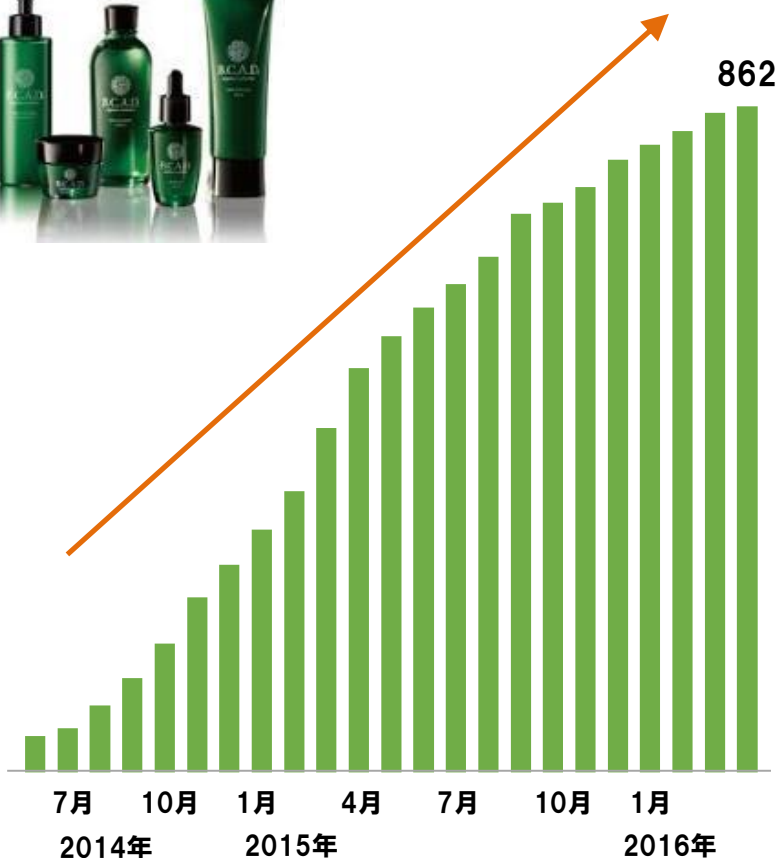
グループ定期
購入者数は
13.1万人に増加



注: 購入者数は「緑汁」と「ユーグレナ・プラス」が対象で、化粧品「B.C.A.D.」は含みません
2015年7月より購入者数の算出を速報値ベースから確定値ベースに変更し、過去データに遡って修正しております

化粧品—自社ブランド「B.C.A.D.」の販路拡大

自社ブランド「B.C.A.D.」の取扱店は累計860店舗を突破



エステティックサロン
ソシェにてOEM商品
eugaを展開中



三越日本橋店に
おいてユーグレナ
ショップを展開中



「B.C.A.D. HOMME」
2015/11/25発売
男性顧客層の開拓

各カテゴリーにおける新商品の投入

食品 (直販)



ユーグレナ入りサプリの新シリーズ『メディカプラス』
ブルーベリー、ノコギリヤシ、プロテオグリカンをそれぞれ配合した3品
(2016/5/16より販売開始)

食品 (流通)



ユーグレナとクロレラを配合したバータイプの菓子『アルジーバー』2品
(2016/2/8より発売開始)



ユーグレナのペットフード『食欲ケアゼリー』2品
(2016/3/25より販売開始)



JR東日本フードビジネスと共同開発したカートカン飲料
『石垣産ユーグレナ×ゴーヤー ~はちみつ仕立て~』
(2016/3/28より販売開始)

化粧品



化粧品新ブランド「one(ワン)」の展開を開始
第一弾商品は、『oneオールインワンクリーム』
(2016/5/16よりECサイトで先行販売開始)

積極的なプロモーション活動

TVCMの放映を開始

川島海荷さん主演の「ユーグレナ・ファームの緑汁」のTVCMを開始。撮影に必要なエネルギーをすべて、ミドリムシ入り燃料 & 食料でまかなうという史上初の試みを実施



ビアガーデン@吉祥寺

吉祥寺に「ユーグレナビアガーデン」を期間限定オープン
(2016/5/20～2016/9末(予定))



「藻活」の推進

藻を積極的に食事に取り入れる「藻活」
ユーグレナやクロレラが入った商品の売り場作りや
コラボ商品の開発を推進



将来の成長に向けた布石 ～研究開発進捗

「国産バイオ燃料計画」の始動

2015年12月1日、羽田空港ANA格納庫において記者会見を開催し、「国産バイオ燃料計画」を1市4社の協力のもとで開始することを発表

国産バイオ燃料計画、動き出す。



2018年、バイオ燃料プラントを横浜市で稼働。そして2020年までに、日本初のバイオジェット燃料での商用フライトを実現させる。
株式会社ユーグレナはこの大きな挑戦に、4社1自治体の協力を得て取り組むことになりました。
国産バイオ燃料を使って飛行機が飛び交い、バスやトラックが走る社会を実現する第一歩。
地球温暖化、資源の枯渇、エネルギー争奪戦、そんな言葉のない明日を目指して。
「MOVE ON BIO.」を掛け声に、先進的なエネルギー施策を推進する環境未来都市・横浜から、本格的なバイオ燃料社会へと動き始めます。

MOVE ON BIO.



ミドリムシのカンパニー



横浜市



CHUYODA CORPORATION



伊藤忠エネクス株式会社



ISUZU



ANA

株式会社ユーグレナは、上記のパートナーとともに、国産バイオ燃料計画に取り組みます。



実証プラントの完成イメージ図

記者会見の様子 (2015/12/1)

日経新聞での広告(2015/12/3)

「国産バイオ燃料計画」の概要

国内生産・国内調達原料を用いて国内実証プラントでバイオ燃料を製造し、2020年迄にバイオジェット・ディーゼル燃料の実用化を目指す

「国産バイオ燃料計画」

国産

原料：
国内で生産又は調達

×

製造場所：
国内(横浜市鶴見区)

バイオ
燃料

ASTM規格準拠
バイオジェット燃料

+

次世代
バイオディーゼル燃料

2018年にバイオ燃料製造実証プラントを稼働

計画

有償フライト

環境整備を経て、
2020年迄に実用化

公道走行

バイオジェット・ディーゼル燃料製造実証プラントの概要

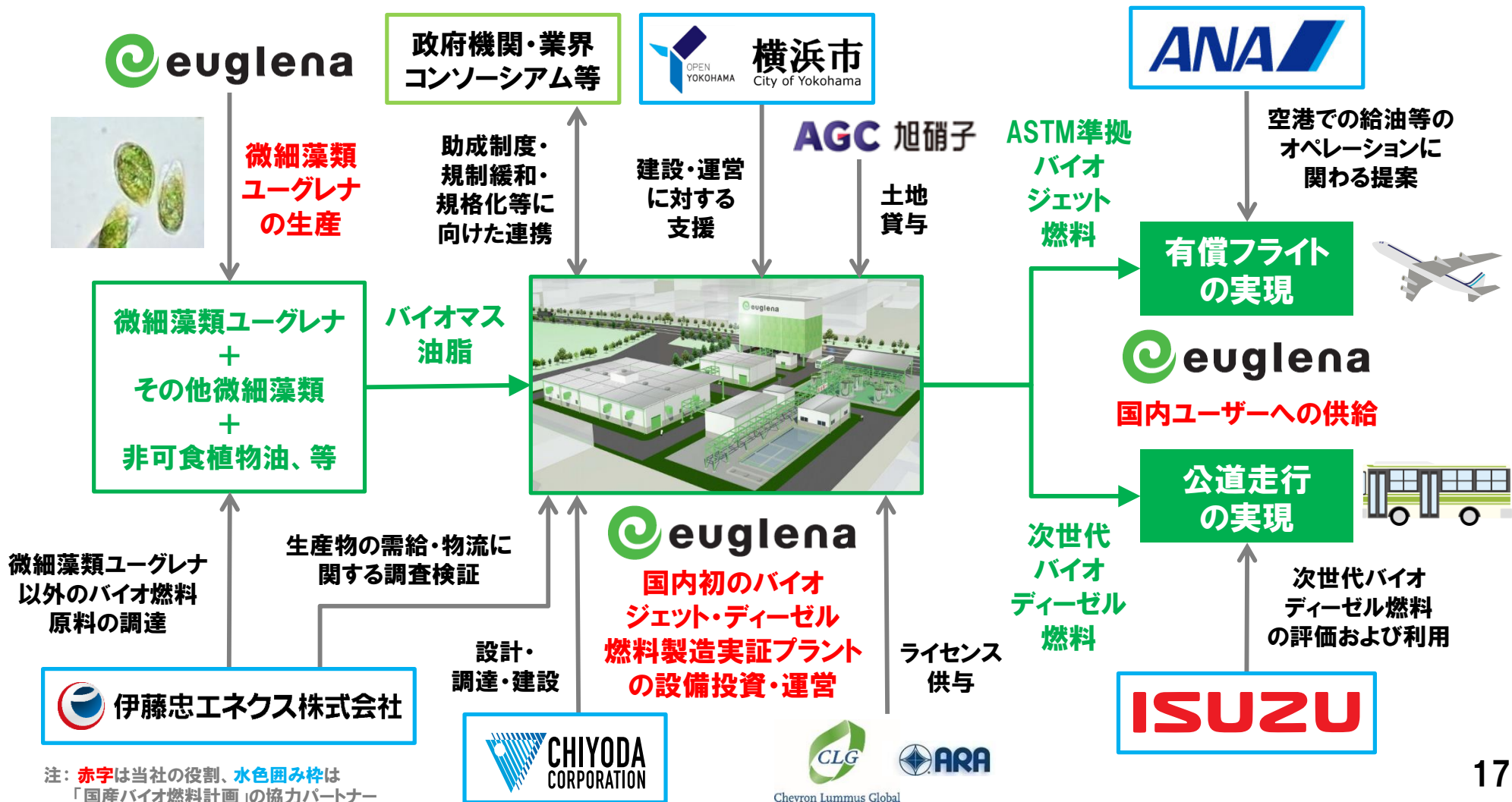
国内初のバイオジェット・ディーゼル燃料製造実証プラントとして、
2018年前半稼働を目指して、旭硝子京浜工場内に建設予定

予定地:	旭硝子(株)京浜工場内(神奈川県横浜市鶴見区)
敷地面積:	約9,000m ²
製造能力:	日産5バレル
製造量:	年産125KL
生產品目:	バイオケロシン(ジェット燃料)、バイオディーゼル、バイオナフサ
採用技術:	Biofuels ISOCONVERSION Process (Chevron Lummus Global / ARA社よりライセンス供与)
スケジュール:	2016年夏 着工、2017年冬 竣工、2018年前半 稼働



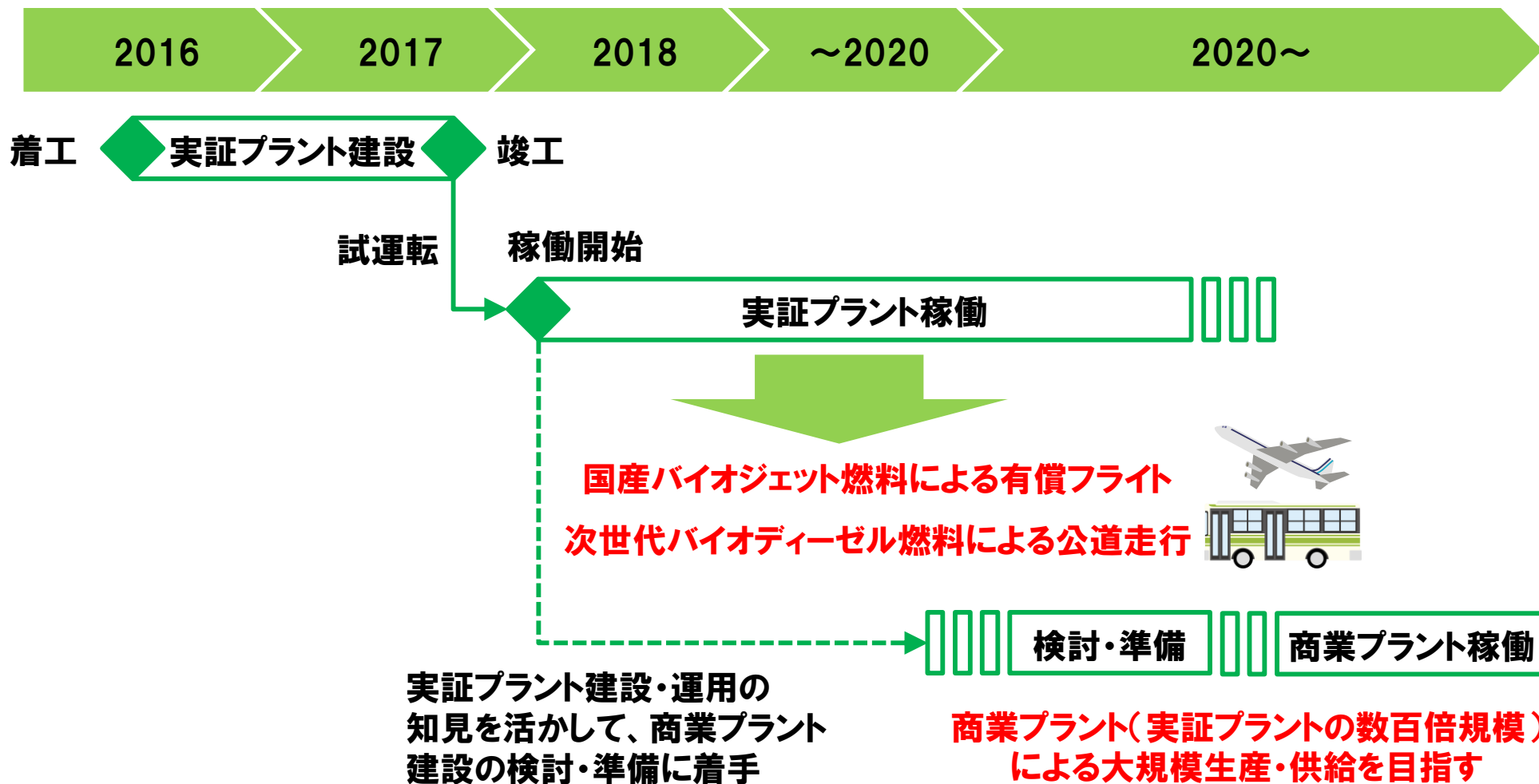
「国産バイオ燃料計画」の全体像と各社の役割

1市4社の協力を得ながら、当社が実証プラントでバイオ燃料を製造し、2020年までの「有償フライトの実現」「公道走行の実現」を目指す







バイオ燃料製造・供給スケジュールとその先

実証プラントは2016年夏に着工、2018年前半に稼働予定
実証プラントの稼働を経て、商業用プラントの計画を推進



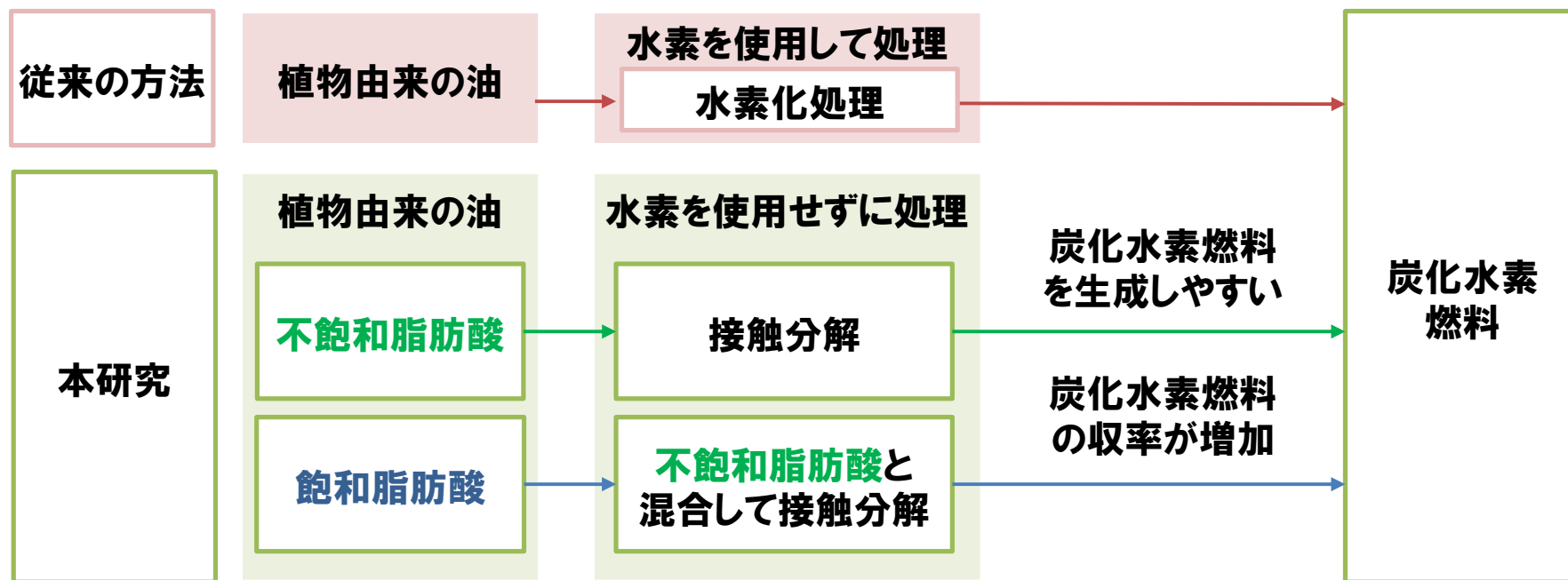
政府支援と産学連携による研究開発

複数の政府支援実証事業や産学連携共同研究プロジェクトに参画

プログラム	当社が担当するテーマ	パートナー
 『革新的研究開発推進プログラム(ImPACT)』	先端光学技術による スーパーユーグレナの選別	東京大学、京都大学、大阪大学、 千葉大学、慶応義塾大学、 カリフォルニア大学ロサンゼルス校、 コロンビア大学
 『戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)』	藻類からの高度不飽和脂肪酸等 の有用物質生産	独立行政法人水産総合研究セン ター、国立環境研究所、東京大学、 筑波大学、(株)ヒガシマル
 『下水道革新的技術実証事業(B-DASH)』	下水中の窒素、リンの回収とバイオガス 中のCO ₂ 分離・回収を微細藻類培養に 利用する技術実証	(株)東芝、日環特殊(株)、 (株)日水コン、日本下水道事業団、 佐賀市共同研究体
 『微細藻類燃料生産実証事業』	福島県土着の微細藻類を活用した 国産バイオ燃料の生産システムの確立	なし

信州大学との共同研究－炭化水素燃料の生成の効率化

植物由来の油から、炭化水素燃料を効率的に生成する研究成果を
発表（2016年3月14日 化学工学会第81年会、2015年11月4日 特許出願済）



水素の供給を受けることが出来ない地域においても、
炭化水素燃料の製造を可能とする技術の開発を目指す

JA全農との共同研究－脱脂ユーグレナの飼料利用

2016年4月、JA全農との間で脱脂ユーグレナの飼料活用に向けた共同研究契約を締結



実施地:

JA全農 飼料畜産中央研究所
(茨城県つくば市)

テーマ:

脱脂ユーグレナ(※)の飼料としての使用可能量や効果の検証を実施し、脱脂ユーグレナを飼料として実用化することを目指す

実施内容:

脱脂ユーグレナを鶏や豚などの家畜に与える飼養試験を共同で実施

準備実験:

採卵鶏を対象とした脱脂ユーグレナ入り飼料の飼養試験を実施し、産卵成績に影響がないことを確認済み(実施期間:2015年1月～2016年3月)

実施期間:

2016年4月～2017年3月末(予定)



脱脂ユーグレナ配合飼料



準備試験の様子

(※) 脱脂ユーグレナとは、微細藻類ユーグレナから油脂を抽出した残さを指します

【ご参考】

株式会社ユーグレナの会社紹介

会社概要

設立	2005年8月9日	
本店	東京都港区芝5-33-1	
資本金	48億2,634万円	2015年9月末
売上高	59億2,435万円	2015年9月期
従業員数 ^(*)	単体 97名 / 連結 190名	2015年9月末
経営理念	人と地球を健康にする	
経営 ビジョン	バイオテクノロジーで、昨日の不可能を今日可能にする	
上場市場	東京証券取引所市場第一部	
証券コード	2931	
単元株	100株	

(※): 契約社員及びアルバイトスタッフを含む

ベンチャー企業としての高い評価

2015年1月、経済産業省「第1回日本ベンチャー大賞」にて
最優秀賞である「内閣総理大臣賞(日本ベンチャー大賞)」を受賞



ユーグレナ研究のきっかけ

Q: 私たちは、何故ユーグレナの研究、事業化を目指したのか



**A: 社長である出雲が大学時代に行ったバングラデシュにて
栄養失調の問題を目の当たりにし、それを解決するために
栄養豊富な食料を作ろうと考えたため**

微細藻ユーグレナとは

属名: Euglena(ユーグレナ)
和名: ミドリムシ

5億年以上前に、原始の地球で誕生した生物の1つ

体長約30 μm から50 μm 、幅約10 μm で、鞭毛を持ち動き回ることができる

水中の有機物、無機物を体内に取り込む特徴を持つ

植物性栄養素と動物性栄養素の両方を含む59種類の栄養素を持つ

強い二酸化炭素耐性を持つ

細胞壁がない

体内に油脂を生成する

ユーグレナの独自成分
パラミロンを持つ

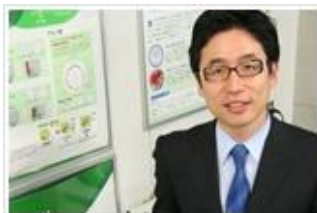


世界初、ユーグレナの大量培養技術の確立

2005年12月に世界で初めて、東京大学を中心とした藻類研究を実施する大学と連携し、ユーグレナの大量培養の技術の確立に成功



研究開発 @ 東京大学



東京大学農学部
創業メンバー



2005年当時の設備(現在は違う設備)
@ 沖縄県石垣島

基本戦略ーバイオマスの5F

米の5F(例)



ご飯

重量単価
高い

Food(食料)

機能性食品



草鞋
(わらじ)

Fiber(繊維)

化粧品素材
医療用素材
化粧品



飼料用米
/稲わら

Feed(飼料)

ペット用食品
配合飼料素材



稲わら堆肥
/すき込み

Fertilizer(肥料)

肥料素材



たき火
/バイオ
エタノール

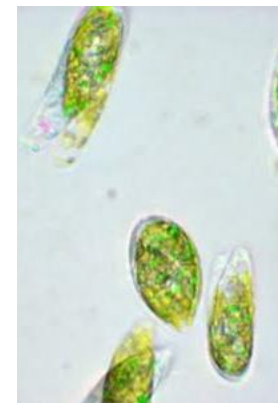
Fuel(燃料)

工業用油
ジェット燃料
ディーゼル燃料



低い

ミドリムシの5F



ヘルスケア事業のビジネスモデル

自社グループ商品



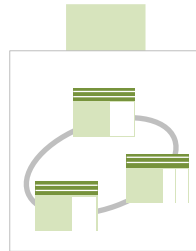
主力商品「緑汁」 サプリメント類 化粧品 飲料



当社ECサイト
「euglena farm」・
エポラ社ECサイト
・通販



全国15,000店
(累計)以上の
「取扱店網」
(当社&ユーグレナ・
アート社)



スーパー・
コンビニなど
全国180社(累計)
以上の取扱企業

消費者

OEM提供



サプリメント 化粧品



「OEM企業群」

消費者

原料供給



粉末原料



大手流通・食品メーカーとの
コラボ商品

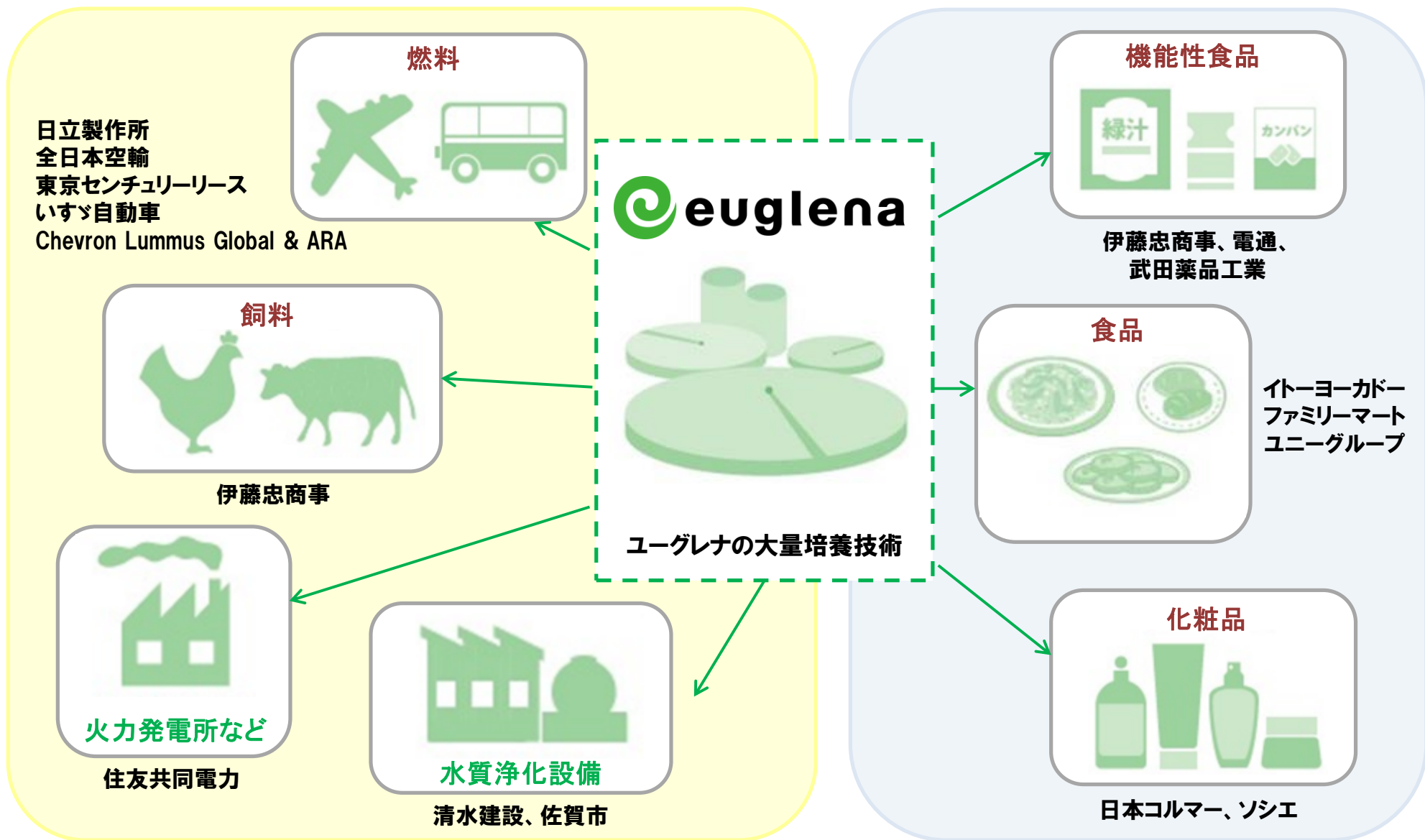


あなたと、コンビニに、
FamilyMart



エネルギー・環境事業

ヘルスケア事業



注：掲載企業は各事業におけるパートナー／資本提携先です

事業・研究開発のパートナー

提携企業 (ヘルスケア事業)



伊藤忠商事
株式会社
(8001.T)



株式会社電通
(4324.T)



株式会社
ファミリーマート
(8208.T)



株式会社セブン&
アイ・ホールディングス
(3382.T)



武田薬品工業
株式会社
(4502.T)

提携パートナー (エネルギー・環境事業)



Chevron Lummus
Global & ARA



株式会社
日立製作所 (6501.T)



ANAホールディングス
株式会社 (9202.T)



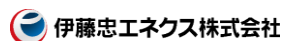
清水建設株式会社
(1803.T)



東京センチュリー
リース株式会社
(8439.T)



いすゞ自動車
株式会社 (7202.T)



伊藤忠エネクス
株式会社
(8133.T)



千代田化工建設
株式会社
(6366.T)



横浜市 横浜市

研究開発パートナー



戦略的イノベーション創造プログラム
Cross-ministerial Strategic Innovation Promotion Program



独立行政法人
科学技術振興機構
Japan Science and Technology Agency



独立行政法人
新エネルギー・産業技術総合開発機構



理化学研究所



大学



東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO



慶應義塾



京都大学
KYOTO UNIVERSITY



信州大学
SHINSHU UNIVERSITY



近畿大学
KINKI UNIVERSITY



高知大学
Kochi University



Public University Corporation of the
UNIVERSITY OF HYOGO



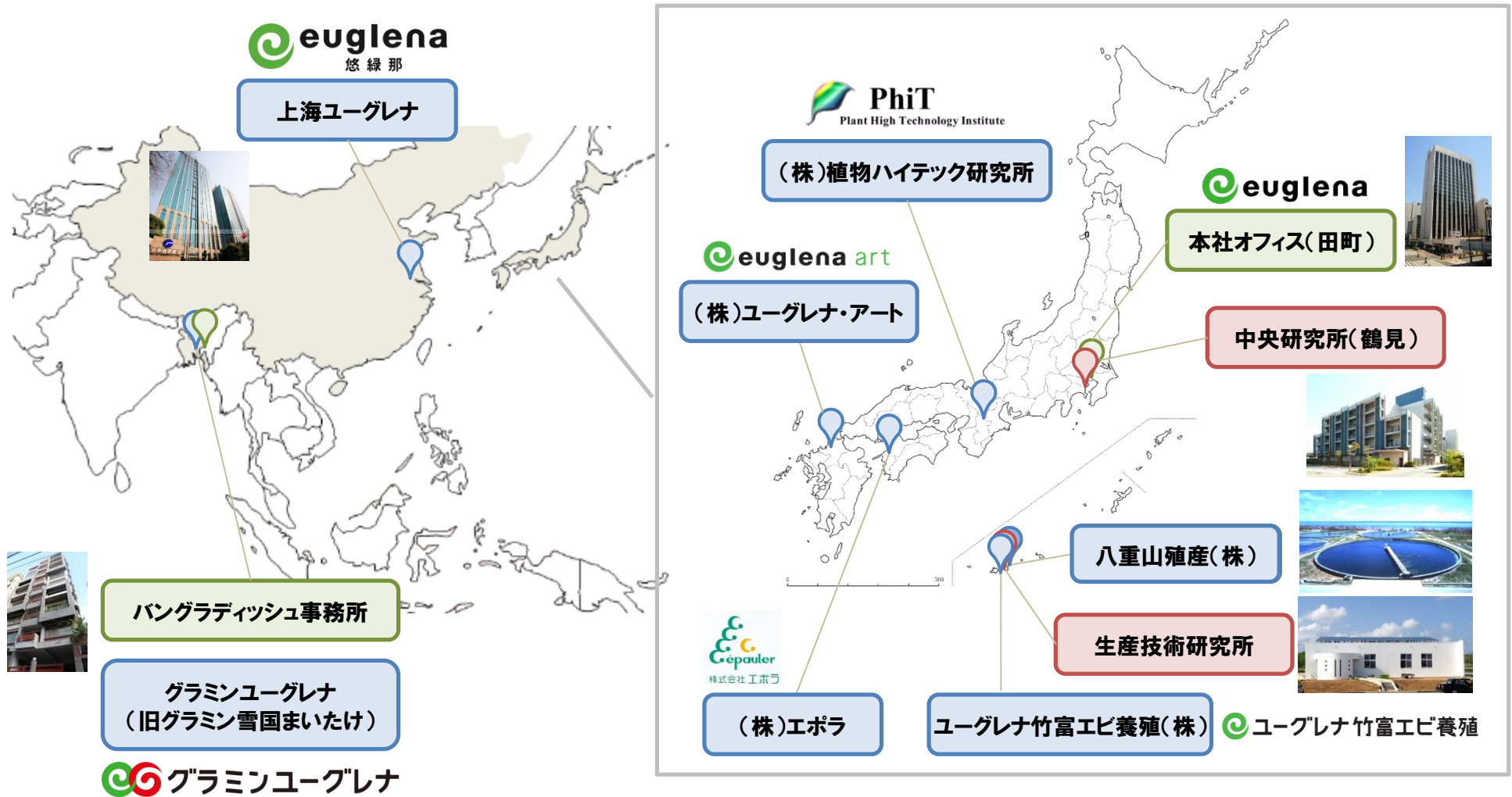
大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

地方自治体



佐賀市
SAGA

拠点・グループ会社



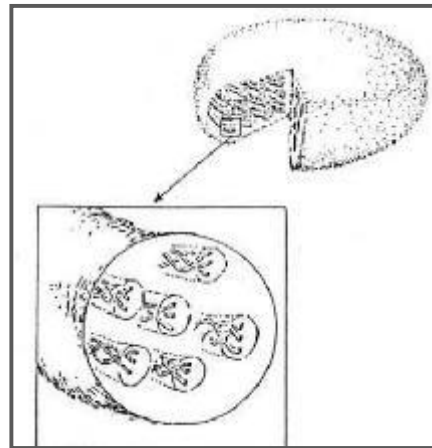
注: 緑色が当社事業拠点、赤色が当社研究拠点、青色が当社グループ会社拠点

ユーグレナ食品の強みーパラミロン

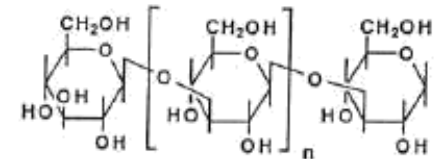
パラミロンはミドリムシしか持っていない食物繊維の一種です
吸油性に優れており難消化性であるため、吸収されずそのまま外へ排出されます
パラミロンがもつ効能もユーグレナの食品としての特徴です



撮影：青山学院大学 福岡伸一教授

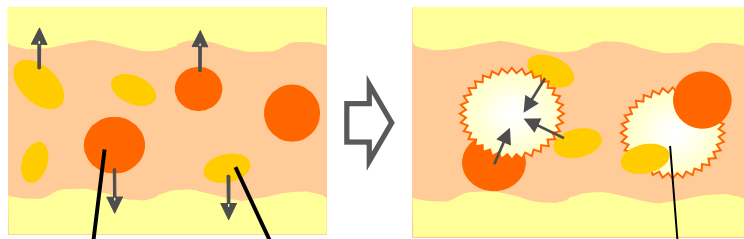


▲パラミロンの粒子構造
(Marchessault and Deslandes, 1979 より引用)



β-1,3- グルカン

▲パラミロンの構造



コレステロール 脂肪

パラミロン粒

- ・脂肪、コレステロールの排出効果
- ・プリン体吸収抑制剤
- ・血中尿酸値低減

- ・免疫バランス調整
- ・アトピー性皮膚炎症状緩和
- ・パラミロンフィルムの創傷治癒効果
- ・インフルエンザ症状緩和
- ・胃潰瘍症状緩和
- ・関節リウマチの症状緩和

ユーグレナGENKIプログラム

今年度は約6,000人の子供達へのクッキー配布を計画
効果測定のための血液検査にも着手



実施概要

配布物: ミドリムシ入りクッキー
(1食分=6枚入り1袋、約230kcal/約50g)

実施期間: 2014年4月より、休日を除く週6日
(1日1食、期限無し)

実施場所: ダッカ(バングラデシュの首都)のNGOが運営する小学校
➢ 2014年度実績: 11校
➢ 2016年4月時点: 26校

**対象者/
配布数:** 上記小学校に通う児童
➢ 2015年度実績: 約5,000人/日
➢ 2016年4月時点: 約6,000人/日

仕組み: 当社及び協賛企業対象商品1個につき
10円を寄付

専用HP: http://www.euglena.jp/genki_program/



2014年第一回協力準備調査
(BOPビジネス連携促進)

実施概要

事業名: ユーグレナ・クッキー事業準備調査

実施地: バングラデシュ人民共和国

テーマ: 貧困層層(BOP)・中所得層(MOP)を対象としたユーグレナ・クッキー等のユーグレナ入り食品の商業化の可能性の調査

調査内容: ・クッキー市場規模と将来性の調査
・BOP、MOP層の各層ニーズ調査
・商品開発と販売テスト

実施期間: 2015年4月から 2017年3月までの2年間



バイオテクノロジーで昨日の不可能を今日可能にする。

